

普及活動情勢報告（令和4年9月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

フロリアードで'みもり'が受賞！ ～アルメーレ国際園芸博覧会への出展～



PR展示の様子
(左からアイカ、みもり、
ミミテール)

9月1日、オランダのアルメーレで開催された国際園芸博覧会にて、管内花き農家が出品したユリ'みもり'がオランダ以外の国では初めての受賞となる Floriade Excellence Award に選ばれました。

'みもり'当該農家のオリジナル品種で、同じく管内の別の花き農家が育成した'ノーブル'から突然変異した品種です。フロリアードには、管内から'みもり'の他、'ノーブル'育成農家の'ノーブルアイカ'、'ミミテール'も出品されました。

普及所は、これまでの栽培指導とともに、出品にあたる手続きを支援しました。

3品種とも今までにない作型での挑戦となり、品質や開花時期等難しい栽培となりましたが、'ノーブルアイカ'も一般選出の10品種に選ばれるなど、管内独自品種が高い評価を得ました。

今後も普及所は、花きの生産拡大に向けた取組を続けていきます。

喜ばれる酒につながる酒米を出荷しよう！～「土佐酒造酒米生産者組合」現地検討会～



「吟の夢」の収穫適期は
いつ位になりそう？

9月7日、本山町および土佐町で特別栽培「吟の夢」の現地検討会が開催され、生産者10名、土佐酒造1名、普及所3名が参加しました。

普及所からは、カメムシ類およびウンカ類への注意喚起を行うとともに、収穫・乾燥作業におけるポイントを説明しました。その後、参加者全員のは場を巡回し、出穂後日数と籾の黄熟度を確認しながら、適切な収穫時期や注意点を参加者と一緒に検討しました。

今年は晴天の日が多く生育はおおむね順調ですが、一部では倒伏がみられる圃場もあり、生産者は「できるだけ多く、良い米を出荷したい」と今後の作業計画について熱心に情報交換していました。

普及所は今後も、良質な酒米生産に向けて支援していきます。

全筆合格でした！！～水稻採種ほ審査～



ほ場に入ってじっくり審査中

9月8日と9日に、普及所は県職員とJA高知県（れいほく営農経済センター、農畜産部米穀課）の協力のもと、計22人で田井採種組合12戸、相川採種組合8戸のは場審査を実施しました。審査では、変種や異品種の混入や病虫害の被害状況、雑草の発生および倒伏程度について調査し、今年度の採種ほ審査では、すべてのほ場で合格となりました。

生産者からは「今年は病気が少ないが、台風による倒伏が心配。このまま順調に生育してほしい。」との声が聞かれました。

普及所では巡回指導等を通じて、今後も関係機関とともに、優良種子の生産に向けて支援していきます。